

学校評価アンケート結果について

早春の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、保護者の皆様にはご多用中にもかかわらず、学校評価に関するアンケートにご協力いただきありがとうございました。保護者の皆様方にアンケートの集計結果の概要をお知らせしますとともに、教職員の自己評価につきましてもその概要をお知らせします。なお、明確になった教育課題につきましては、今後の教育活動に成果をあげられるよう、よりよい学校づくりにつなげていきたいと考えております。今後とも、ご協力・ご支援をいただきますようよろしくお願いいたします。

令和7年度 学校評価アンケート【保護者】

☆評価の高い項目
(そう思う、だいたいそう思うの項目が90%を超えている)

- 学校は、HPや学校だより等で教育活動の目標やねらいを伝えられている。
- お子さんは、楽しく学校生活を送っている。
- お子さんは、学校で友達と仲良くすごしている。
- お子さんは、場に応じたあいさつや言葉づかいをしている。
- お子さんは、学校で友だちと仲良くすごしている。
- お子さんは、毎日、家庭学習をしている。
- 学校は、開かれた学校づくりに努めている。
- 学校は、HPや学校だより等でお子さんの様子や取組を伝えられている。
- 学校は、地域の人材や施設を活用して学習に取り組んでいる。
- 学校は、自然災害等緊急時への対応について指導・連絡ができています。

☆評価の低い項目
(あまり思わない、全く思わないの項目が20%を超えている)

- お子さんは、将来の夢や目標をもって努力(生活)している。
- お子さんは、授業が楽しく分かりやすいと言っている。
- お子さんは、進んで読書をしている。
- お子さんは、自分の考えや意見を伝える力が身についている。

アンケート結果の考察

【保護者】

「そう思う」「だいたいそう思う」をあわせると、いずれもが90%以上という数値が10項目でした。昨年度より1項目減っていますが、場に応じたあいさつや家庭学習について評価が高くなり、新たに加わりました。多くの保護者は、学校生活において子どもたちは、楽しく有意義な学校生活を送っていると感じてくださっているようです。しかしながら、学校の適正・公平な評価や体力向上に向けた取組に関しては評価が下がってしまったので、真摯に受け止め改善していく必要があります。

「あまり思わない」「全く思わない」のポイントが20%を超えた項目は上記の4項目です。昨年度より1項目減っています。毎年のように課題にあがっている「読書活動」については、昨年度70%を超える低い評価となりましたが、55%に下がりました。現在、南小図書ボランティアの方々の力を借りて、学校図書館の環境づくりの改善・充実を図っている最中です。

【児童】

今年度は、「進んで読書をしている」の項目が、下学年では81.3%と高く、週末読書の取組や町立図書館からの図書の貸し出し等の成果が出ていると思われそうです。上学年でも71.5%と昨年度より評価が高くなっています。読書習慣の定着は、学力の向上に大きく影響してきます。音読や週末読書、町立図書館からの図書の貸し出し等、今後も取り組みを継続していきますのでご協力をよろしくお願いいたします。

【教職員】

昨年に引き続き、「読書の習慣」「自分の考えや意見を伝える力」に課題を感じています。読書習慣に関しては、学校としても児童が進んで読みたいと思える環境づくりに尽力しているところです。また、伝える力に関しては、生活様式がすっかり通常に戻り、意見を伝え合う場や人と関わる機会が増えたことにより、同じ課題が浮かび上がってきています。全教職員で柔軟に受けとめ、教育活動の改善をより強力に進めていきたいと考えています。

今後とも、保護者の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。